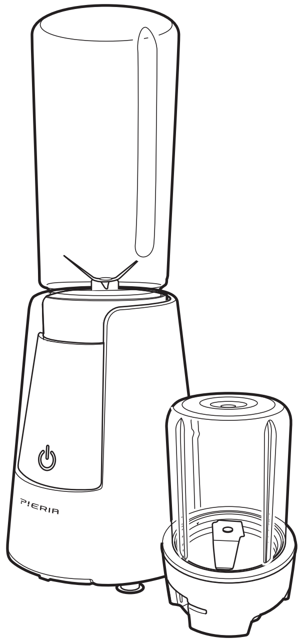
ミル付タンブラーミキサー　DTM-1502

取扱説明書・保証書



　このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

もくじ

安全上のご注意……………………P. 2 ～ 3
各部の名称とはたらき…………………P. 4
正しい使いかた…………………P 5 ～ 9
調理例……………………………P. 10 ～ 11
お手入れと保存…………………P 12 ～ 13
修理・サービスを依頼する前に…………P 14
アフターサービスについて……………裏表紙
保証書………………………………裏表紙

仕　様

品　　名	ミル付タンブラーミキサー
型　　名	DTM-1502
電　　源	AC100V　50/60Hz
定格消費電力	180 W
定格容量	400 ml（ミル：120ml）
定格時間	連続（1 分間運転、1 分間停止の繰り返し）
電源コード長さ	約 1.4 m
寸　　法	約 幅 13.5 ×奥行き 15.5 ×高さ 32 cm（ミルを取り付けたとき 25.5cm）
質　　量	約 1 kg

● 仕様等は改善・改良の ため、予告なく変更することがあります。
● この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

株式会社ドウシシャ

1C15A

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 （物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。）

図記号の意味と例

	⃠は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「分解禁止」を示します。）
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。）

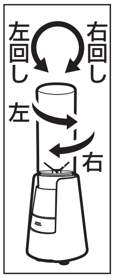
⚠警告

禁止	**交流100V以外では使用しない。** 火災・感電の原因になります。	指示	**電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。** 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。		**電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。** ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	プラグを抜く	**使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。** 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けがややけど、感電の原因になります。		**お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。** 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電や異常運転してけがの原因になります。	分解禁止	**分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。** 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙をご参照ください）にご相談ください。
	タンブラーボトル・ミルカップの中に指や箸、スプーンなど調理食材以外のものを入れない。 けがや故障の原因になることがあります。	ぬれ手禁止	**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。** 感電の原因になります。
	業務用として使用しない。調理以外に使用しない。 本製品は家庭用・調理用として設計・製造されています。業務用としての使用、調理以外の使用は、絶対しないでください。	水ぬれ禁止	**本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。** ショート・感電の原因になります。
使用禁止	**異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用を停止する。** 火災・感電の原因になります。		
	使用温度範囲外（0°C以下、40°C以上）では使用せず、使用温度範囲内でも1分間以上の連続使用をしない。 故障の原因になります。		

⚠注意

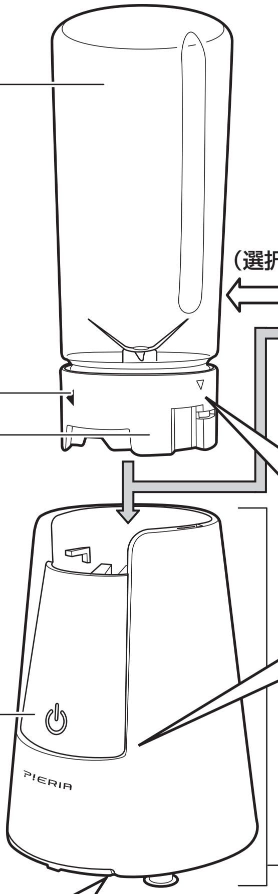
指示	**運転は部品を正しく取り付けてから行なう。** 故障の原因になることがあります。	禁止	**カッターに直接手を触れない。** けがの原因になることがあります。
	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電やショートの原因になることがあります。		**運転中に移動しない。** けがや故障の原因になることがあります。
	調理する量、水分、食材に十分注意して運転する。 •容量が最大(400mlタンブラー·120mlミル)超、または全体の1/4より少ない •水分が少ない·粘り気の多い食材のみ •固い食材のみなど、故障の原因になることがあります。		**タンブラーボトル・ミルカップに手をかけたまま運転しない。** 故障の原因になることがあります。
禁止	**40°C以上の熱い食材を容器に入れない。** ふきこぼれによるやけどやタンブラーボトル・ミルカップの割れ・変形によってけがの原因になることがあります。		**操作ボタンを物を使って押したりしない。** けがや故障の原因になることがあります。
	食材が多すぎたり、その他の原因で回転が止まったときは、そのままの状態で使わない。 けがや故障の原因になることがあります。		**ミキサーカッター・ミルカッターや回転部を露出させた状態で運転しない。** けがの原因になることがあります。
	空回ししない。極端に少ない食材で使用しない。 けがや故障の原因になることがあります。		**運転中にタンブラーボトル・ミルカップの取りはずしはしない。** けがや故障の原因になることがあります。
	本体の底面にある通気口をふさがない。 故障の原因になることがあります。		**本体以外をお手入れするときは、食器用洗浄機、食器用乾燥機を使用しない。** 熱により変形したり故障の原因になることがあります。
	不安定な場所では使わない。 けがや故障の原因になることがあります。		**大きな氷や市販の氷(ロックアイス)などを使用しない。** 破損や故障の原因になることがあります。
	カッター刃が付いた容器台座だけを本体の上に置かない。 けがや故障の原因になることがあります。		

各部の名称とはたらき



表面

《タンブラー》



タンブラーボトル
食材を入れ、タンブラーボトル用容器台座を取り付けて使用します。
タンブラーボトル用容器台座をはずし、タンブラーボトルふたを取り付けて、持ち出すことができます。

ロック確認マーク
正しく取り付けたとき、このマークがかくれて見えなくなります。

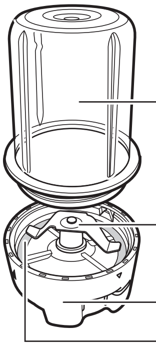
タンブラーボトル用容器台座

操作ボタン
操作ボタンを押している間のみ、ミキサーカッター･ミルカッターは運転をします。
※連続で運転させるのは最大で1分以内にしてください。
連続で1分程度運転させたあとは、1分以上運転をしないでください。

本体

（選択）

《ミル》



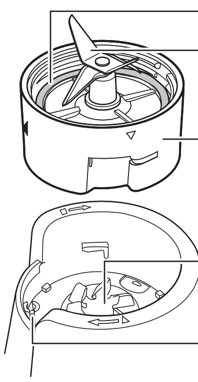
ミルカップ

※ミルカッターは2枚刃です。

ミルカッター

ミルカップ用容器台座

パッキン



パッキン

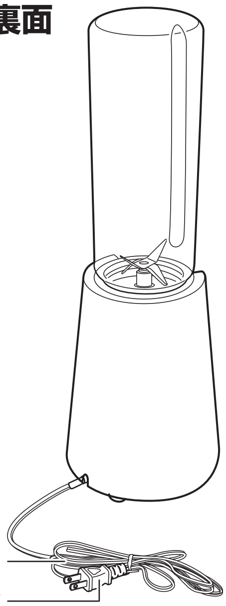
ミキサーカッター

タンブラーボトル用容器台座

回転部分

安全装置

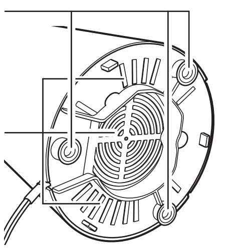
裏面



電源コード

電源プラグ

底面



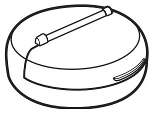
脚部
吸着パッドになっています。移動時は、本体を上に持ち上げてから移動させてください。

通気口
内部のモーターを冷やすため、ふさがないようにしてください。

付属品

タンブラーボトルふた

タンブラーボトル部分を持ち出すときに、タンブラーボトル用容器台座の代わりに取り付けます（裏側にパッキンが装着済）。
※食材によっては早くいたむため、長時間の保存はできません。



ミルカップふた

ミルカップ部分を日常使用するときに、ミルカップ用容器台座の代わりに取り付けます（裏側にパッキンが装着済）。
※食材によっては早くいたむため、長時間の保存はできません。

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体	1 個
タンブラーボトル	1 個
タンブラーボトル用容器台座（パッキン装着済）	1 個
ミルカップ用容器台座（パッキン装着済）	1 個
ミルカップ	1 個
タンブラーボトルふた（パッキン装着済）	1 個
ミルカップふた（パッキン装着済）	1 個
取扱説明書（保証書含む）	1 個

※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、使用後、製品を収納するときに必要ですので捨てないでください。

正しい使いかた

使用前の準備

1. 本体を正しく設置する

- 安定した水平な台の上に設置してください。
- 購入後初めて使用するときは、本体以外の部分を十分に洗って十分乾燥させてから使用してください。

2. タンブラーボトル用容器台座・ミルカップ用容器台座・タンブラーボトルふた・ミルカップふたのそれぞれにパッキンが正しく取り付けられているか確認する

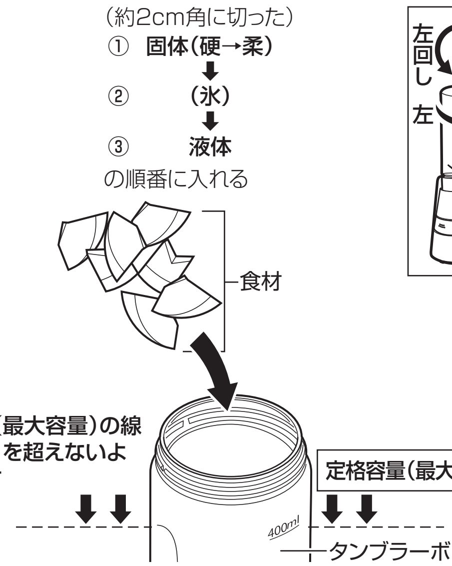
運転を開始／停止する

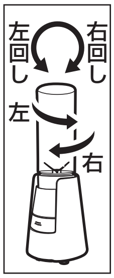
《タンブラーボトル》

1-1. タンブラーボトルに食材を入れ、タンブラーボトル用容器台座を取り付ける

固体のかたい食材から順に入れ、最後に液体を入れてください。

- タンブラーボトルに刻印されている、定格容量（最大容量）の線（400ml）以上は入れないでください。
- タンブラーボトルは耐熱性が高くないため、40°C 以上の食材は入れないでください。
- 食材が少なすぎても正常に運転しません。食材はタンブラーボトルのおよそ 1/4（約100ml）以上、入れるようにしてください
- 固体の食材は 2cm 角くらいに切ってから、入れてください。
- 氷を入れるときは液体を入れる前に入れます。

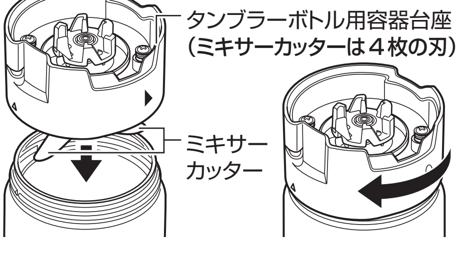




⚠注意	• 食材を定格容量（最大容量）の線以上入れない。 • 食材を1/4（約100ml）以上入れる。 • 40℃以上の食材を入れない。 • 食材には、水や牛乳などの水分を必ず加える。 • 粘りが出る食材（小麦粉など）は使用しない。 本体に大きな負担をかけ、故障の原因となります。 • 飲み物を作る目的以外に使用しない。 • 食材以外のものを入れない。

食材を入れ終えたら、タンブラーボトル用容器台座を取り付けてください。しっかり取り付けないと、もれたりする原因になります

⚠注意	• ミキサーカッターに触れない。タンブラーボトル用容器台座のミキサーカッターは鋭利なため、十分注意する。 • 角氷（約2cm角）は6個以上タンブラーボトルに入れない。 カッターの欠けや故障の原因になることがあります。 • 1分以上連続運転をしない。 故障の原因になることがあります。



▶▶ 7 ページにつづく ▶▶

《ミルカップ》

⚠注意	**ミルカップでは水分の少ないものを砕く、ペースト状にすることなどに使用する。** 水分の多いジュースなど作ることはできません。タンブラーボトルで調理してください。

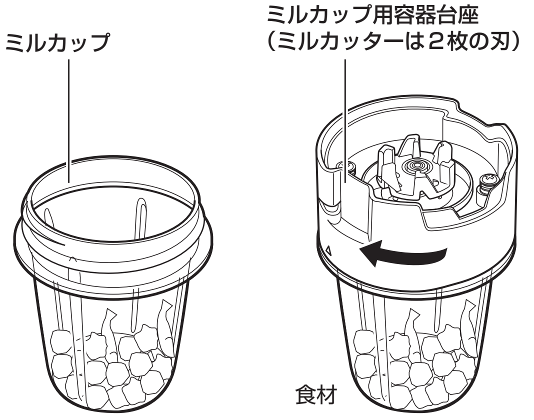
1-2. ミルカップに食材を入れ、ミルカップ用容器台座を取り付ける

ミルでは基本的に固体のかたいもの、または水分の少ないものをペースト状にすることができます。

- 食材が多すぎると正常に運転しません。ミルカップの定格容量（最大容量）（約 120ml）より多くは入れないようにしてください。
- 食材が少なすぎても正常に運転しません。食材はミルカップのおよそ1/4（約30ml）以上、入れるようにしてください。
- 湿気や水分を含む食材はフライパンでこげつかないよう深煎りするか電子レンジで水分を飛ばし十分に冷ましてから使用してください。
- 固体の食材は 2cm 角くらいに切ってから、入れてください。

⚠注意	**• 食材を定格容量（最大容量）以上入れない。** **• 食材を1/4（約30ml）以上入れる。** **• 40℃以上の食材を入れない。** **• 食材以外のものを入れない。** **• ミルカップ用容器台座のミルカッターは鋭利なため、十分注意する。**

食材を入れ終えたら、ミルカップ用容器台座をしっかり取り付けてください。もれたりする原因になります



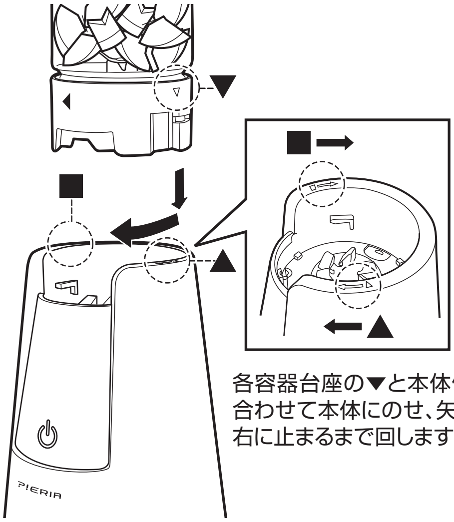
《タンブラーボトル・ミルカップ共通》

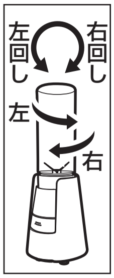
各容器＝タンブラーボトル・ミルカップ 各容器台座=タンブラーボトル用容器台座・ミルカップ用容器台座

2. （各容器台座が下になるように）上下回転させて、各容器台座の▼マークと本体の▲マークを合わせて本体にのせ、（各容器＋各容器台座を）右回しにしてロックをする

「ロック確認マーク」（◀）が完全にかくれるまで回してロックしてください。

- ▲▼マークを合わせないと、ぴったりのせることができません。（本体左側の■マークと各容器台座の■マークが合います。）





各容器台座の▼と本体側の▲を合わせて本体にのせ、矢印通りに右に止まるまで回します。

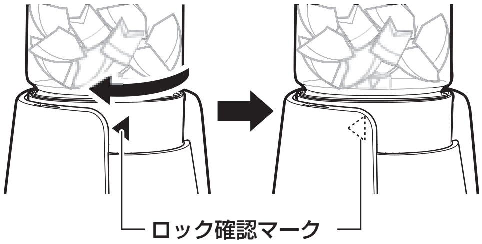
3. 電源プラグをコンセントに差し込む

4. 運転を開始／停止する

操作ボタンを押して運転させます。

- 操作ボタンを押していると運転を続けます。
- 操作ボタンを離すと運転を停止します。

※（各容器+各容器台座を）右回しにしてロック確認マークが完全にかくれた状態になっていないと、運転しません（➡手順2）。

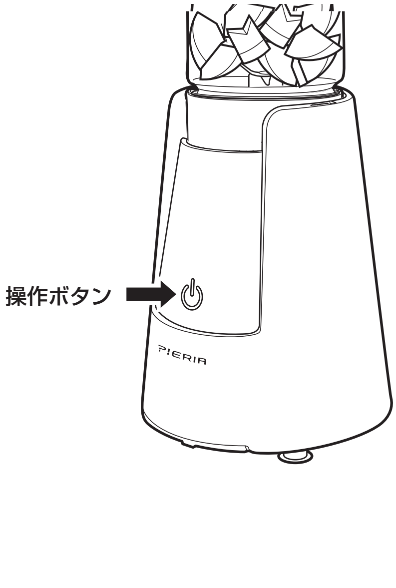


ロック確認マークが見えていると、ロックは完了していません。

ロック確認マークが完全にかくれるまで、右回しにしてロックしてください。

⚠警告	• **1分間以上の連続運転をしない。** • **1分間連続運転を行なったあとは、必ず1分間以上運転をしない。** • **異常音がしたり振動が大きいとき、回転が止まりそうなとき、または回転しないときは運転を停止する。** 各容器台座を取りはずし食材を減らしてください。

⚠注意	**食材が細かくならないときは運転を停止する。** 本体から各容器台座を取りはずし、上下に振ってから再度取り付け運転を再開してください。



5. （各容器+各容器台座）を左に回してロックをはずし、本体から取りはずす

⚠注意	**（各容器＋各容器台座を）本体から取りはずすときは、回しすぎないようにする。** （各容器＋各容器台座）を本体から取りはずすとき、取りはずせる位置からさらに左に回してしまうと、各容器と各容器台座がゆるんで、内容物がもれてしまうおそれがあります。

6. 上下逆さまに（各容器を下に･各容器台座を上に）しておく

7. 電源プラグをコンセントから抜く

⚠警告	**使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。** 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

▶▶つぎのページにつづく▶▶

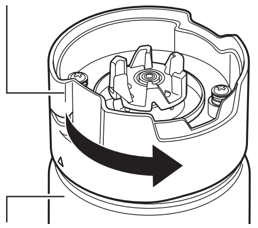
正しい使いかた（つづき）

タンブラーボトルふた・ミルカップふたを使う

1. 各容器台座を各容器から取りはずす

各容器台座を各容器から取りはずします。

- （特にタンブラーボトルでは）食材・温度・時間によっては、調理したものが噴き出してくることがありますので、取りはずす場所を選んでください。
- 各容器台座を取り付けたままにしておかないでください。各カッターに影響を与えます。

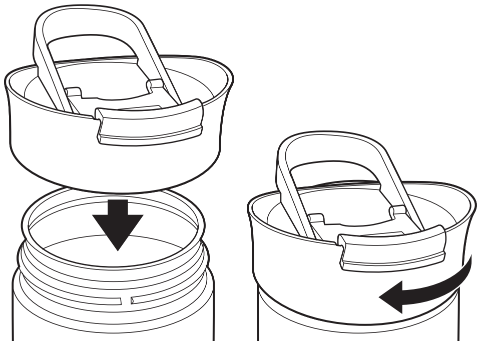


各容器台座を左にまわして、各容器からとりはずしてください。

⚠注意	・**各容器台座の各カッターは鋭利なため、取り扱いに十分注意する。** ・**取りはずした各容器台座は容易に触れる場所に置かない。各カッターを下に向けて置かない。** けがやキズ付けの原因になります。

《タンブラーボトルふた》

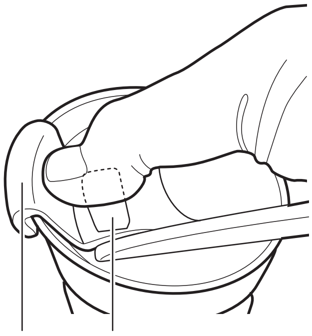
2. タンブラーボトルにタンブラーボトルふたを右に回して取り付ける



3. タンブラーボトルふたについている飲み口用ふたの内側の端を押し込む

タンブラーボトルふたの内側の端を指で押し付け、さらに飲み口用ふたのパッキンの上を指で押し込んでください。

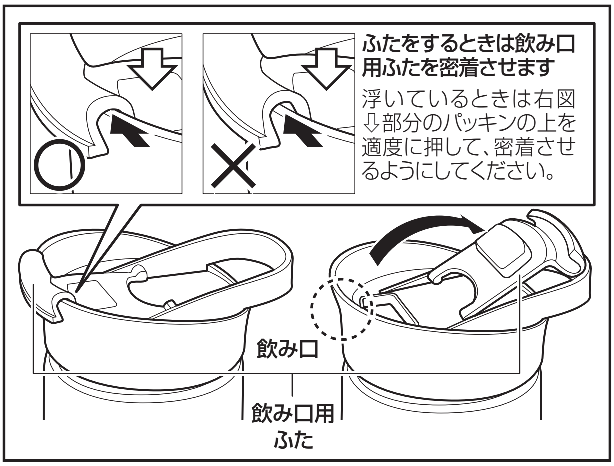
※調理物をもれにくくするため、パッキンの上を指で押し込むことは必ず行なってください。



4. タンブラーボトルふた上にある飲み口用ふたが密着していることを確認する

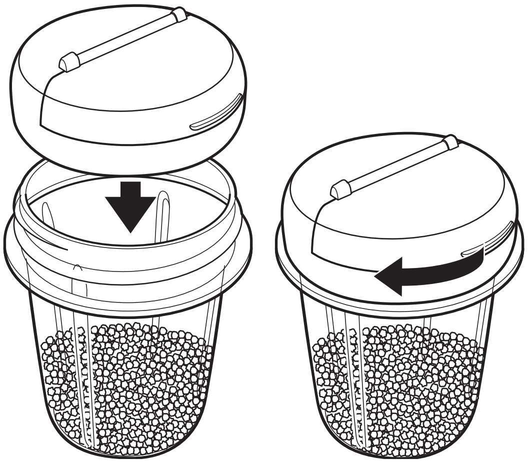
- 飲み口のふたは、しっかりしめて密着させてください。中途半端ですと、もれることがあります。
- タンブラーボトルふたは、密閉度が低いため、一時的な持ち出し以外、短時間〜長時間の保存には向きません。

⚠注意	**できるだけ短時間で使用を終えるようにする。** 食材によって時間がたつと気をつけなければならないものもありますので、早めに使用を終えるようにしてください。



《ミルカップふた》

2. ミルカップにミルカップふたを右に回して取り付ける

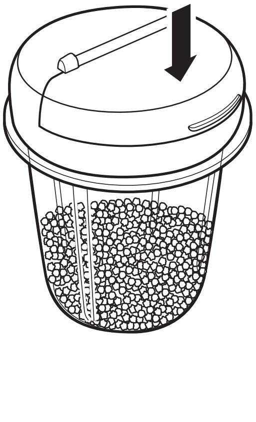


3. ミルカップふたを取り付けて使用するときは、カバーを指などでおさえて使用する

ミルカップふたは、開いている状態ではカバーは固定されません。指などで固定しながら使用してください。

4. ミルカップふたのカバーを閉めるときは、パチンと音がするのを確認する

- パチンと音がしないと確実にロックされず、ミルカップが倒れたときなど、調理物が出てきてしまうことがあります。
- ミルカップふたは、密閉度が低いため、一時的な使用以外、長時間の保存には向きません。



⚠注意	**できるだけ短時間で使用を終えるようにする。** 食材によって時間がたつと気をつけなければならないものもありますので、早めに使用を終えるようにしてください。

調理例

⚠注意	• **粘りが出る食材(小麦粉など)は使用しない。** 本体に大きな負担をかけ、故障の原因となります。 • **飲み物を作る目的以外に使用しない。**

タンブラーミキサーを使った調理例

バナナジュース

作りかた

(1) ①バナナは皮をむき、2cm 角の大きさに切ります。

(2) ①バナナから②角氷、③牛乳の順にタンブラーボトルに入れ、約 30 ～ 40 秒運転します。(必要に応じて水（または牛乳）を加えてください。)

材　料

① バナナ............ 1 本（約 100g)
② 角氷（約 2cm 角）..... 2 ～ 3 個
③ 牛乳
.... 1/6 カップ (125ml)

にんじんジュース

作りかた

(1) ①にんじんと②りんごは皮をむき、2cm 角の大きさに切ります。

(2) ①にんじんから②りんご、③はちみつ、④角氷、⑤水（または牛乳）の順にタンブラーボトルに入れ、約 50 ～ 60 秒運転します。(必要に応じて水（または牛乳）を加えてください。)

材　料

① にんじん...... 1/2 本（約 60g)
② りんご......... 1/4 個（約 60g)
③ はちみつ............................ 適量
④ 角氷（約 2cm 角）..... 2 ～ 3 個
⑤ 水（または牛乳）
..................1 カップ（150ml)

スムージー

作りかた

(1) ①ブルーベリーから②はちみつ、③ヨーグルト、④角氷、⑤牛乳の順にタンブラーボトルに入れ、約 30 ～ 40 秒運転します。(必要に応じて水（または牛乳）を加えてください。)

材　料

① ブルーベリー 50g
② はちみつ......... 小さじ 1 ～ 2 杯
③ ヨーグルト 25g
④ 角氷（約 2cm 角）............ 5 個
⑤ 牛乳......... 1/3 カップ（50ml)

●フルーツジュースを作るコツ

牛乳、生クリーム、カッテージチーズ、ヨーグルトなどの身近にある乳製品を加えると、レパートリーが広がります。(苦みがあるときはレモン果汁を加えてみてください。)
また、甘みが足りないときは、砂糖などに比べてカロリーの低いオリゴ糖や、ミネラル分を多く含んでいる黒砂糖や蜂蜜を加えてみましょう

●冷たいジュースを作るコツ

冷たいジュースを作るときは、食材に角氷（約 2cm）を 1 人前につき 1 ～ 2 個加えてください。

●野菜ジュースを作るコツ

野菜には、特有の苦みや土臭さがあります。気になるときは、皮をむいたり、少量の蜂蜜を加えると飲みやすくなります。
また、りんごやオレンジ、レモン果汁を加えても、飲みやすくなります。

●水分の少ない素材でジュースを作るコツ

水分の少ない素材でジュースを作るときは、水や牛乳を加えて調整してください。

※大きな氷や市販の氷（ロックアイス）は使用しないでください。故障や刃の破損の原因になります。

ミルを使った調理例

ふりかけ

材　料（1 回分）

① 煮干 10g
② 桜えび 5g
③ 乾燥わかめ................................ 5 個
④ 白炒りごま.................... 大さじ 1 杯

作りかた

（1）①煮干、②桜えび、③乾燥わかめを 1cm くらいの大きさに切る。

（2）(1) と④白炒りごまをミル容器に入れ、約 20 秒運転します。

（3）ミル容器ふたを取り付けて、食卓で使用してください。

粉末緑茶

材　料（1 回分）

① 緑茶または煎茶 20g
② ほうじ茶 10g
③ 番茶 10g

作りかた

（1）①②③を茎の多い場合は取り除き、ミル容器に入れる。

（2）約 60 秒運転する。

（3）さらに細くしたいときは 1 分以上停止してから再度運転する。

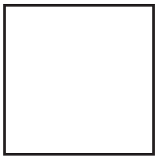
コーヒー

材　料（1 回分）

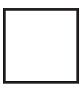
① コーヒー豆......................... 約 30g

作りかた

（1）①ミル容器に入れて、約 20 秒運転する。



《参考》2cm 角・原寸大



《参考》1cm 角・原寸大

お手入れと保存

⚠警告	**お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。** 感電やけがの原因になります

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体は水をかけて洗わないでください。（感電・故障の原因になります。）

本体

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つく原因となることがあります。）

- 脚部の吸着パットは汚れたままにすると、劣化して吸着固定しなくなるため、本体の汚れと同様に毎回きれいにしてください。
- 本体内部を冷やすために運転中空気を底面から取り入れているため、底面にホコリがたまることがあります。使用したあとは掃除機で底面のホコリを吸ってください。

本体以外

本体以外はすべて水洗いすることができます。
タンブラーボトル用容器台座・ミルカップ用容器台座・タンブラーボトルふた・ミルカップふたからパッキンを取りはずし、ボトルを含めて食器用中性洗剤を入れたぬるま湯に浸して、時間をおいてからスポンジやブラシなどで洗ってください。すべて十分にすすいで、よく乾燥させます。

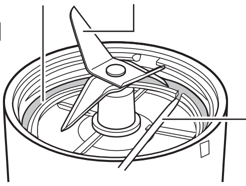
パッキンの取りはずしかた

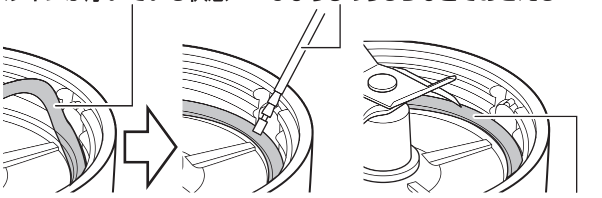
タンブラーボトル用容器台座・ミルカップ用容器台座・タンブラーボトルふた・ミルカップふたにあるパッキンは取りはずすことができます。お手入れのときには取りはずしてください。

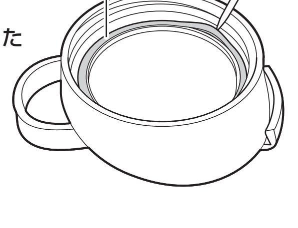
- 容器台座の内側にはパッキン取りはずし用の溝があり、そこからつまようじなどを使ってパッキンを慎重に取りはずします。
- パッキンを傷つけてしまうため、クリップなど金属は使用しないでください。
- パッキンが浮いているときは、つまようじのうしろなどでおさえて、《正しく取り付けられた状態》にしてください。

※ お手入れのあとは必ずパッキンを取り付けてください。

⚠注意	• タンブラーボトル用容器台座・ミルカップ用容器台座を分解しない。 • ミキサーカッター・ミルカッターの刃に直接触れない。







タンブラーボトル用容器台座・ミルカップ用容器台座

パッキンをはずし、手や指などをけがしないように柄の長いブラシやたわしなどを使い、ミキサーカッター・ミルカッターに直接触れないようにして汚れを落としてください。タンブラーボトル用容器台座・ミルカップ用容器台座はパッキン以外取りはずさないでください。

⚠注意	• **タンブラーボトル用容器台座・ミルカップ用容器台座を分解しない。** • **ミキサーカッター・ミルカッターに直接触れない。**

保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- 取りはずしたパッキンを、元通りに取り付けてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告	**修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。**

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
操作ボタンを押してもミキサーカッター・ミルカッターが回転しない	• 電源プラグが抜けている	電源プラグをしっかり差し込む
	• 食材が多すぎる	食材を取り出して適切な量にする
	• 食材が大きすぎる	食材を取り出して適切な大きさにする
	• （タンブラーボトル＋タンブラーボトル用容器台座）（ミルカップ＋ミルカップ用容器台座）を（本体に対して）回してロックしていない	▲▼を合わせて取り付け、「ロック確認マーク（◀）」が完全に隠れるまで回してロックする
	• 直前に数分間連続使用をしていた（安全装置が働いて運転を止めています）	30 分以上使用しない（1 分間以上連続運転をしない）
使用中運転が止まる 振動が大きい	• 食材が大きすぎる	食材を小さくする
	• 食材が多すぎる	食材を少なくする
タンブラーボトルとタンブラーボトル用容器台座の間からもれる	• タンブラーボトルとミル用容器台座、ミルカップとミルカップ用容器台座が正しく取り付けられていない	一度取りはずして、正しく取り付け、確実に止まるまで締め付ける
	• パッキンが正しく入っていない	パッキンを正しく入れる
タンブラーボトルとタンブラーボトルふたの間からもれる	• タンブラーボトルとタンブラーボトルふた・ミルカップとミルカップふたが正しく取り付けられていない	一度取りはずして、正しく取り付け、確実に止まるまで締め付ける
	• パッキンが正しく入っていない	パッキンを正しく入れる
	• 調理してから時間がたった（調理物によっては、時間がたつと発酵してガスが発生し、飲み口のふたをあけてしまうものがあります）	早めに飲むなどして中身をなくす
ミキサーカッター・ミルカッターがから回りする	• 食材の種類や組み合わせ、比率によってタンブラーボトル壁面に付いたり、分離してしまうことがあります	本体からはずして、上下左右に振るなどしてミキサーカッター・ミルカッター周りの食材を落とす・混ぜる
	• 食材が少なすぎる	食材を増やす（タンブラーボトルの1/4 程度は食材を入れてください）

長年ご使用のミキサーはよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

▶ このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

MEMO